



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 入間定期便C-130で体験搭乗 ～いざ、北の大地へ。夏の特別な体験～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子1陸佐）は、8月20日（水）、入間基地から千歳基地への往復定期便を利用し、募集対象者4名のC-130輸送機体験搭乗を支援した。

入間基地では、搭乗前の待機時間に、同行した広報官等の案内で基地内の案内や売店に立ち寄るなど、航空自衛隊基地の魅力を満喫した。その後、ターミナルへと前進して搭乗手続きを済ませ、C-130へ乗り込み、無事に入間基地を飛び立っていった。フライト中は、同乗していた自衛隊員と交流するなど、空の旅を楽しみながら千歳空港（千歳基地）へ到着した。千歳基地では滞在時間こそ短かったが、おみやげを購入するなど満喫できた様子であった。また、千歳から入間基地へ帰る航空便では偶然にも他の搭乗客が無く、機内の貸し切り状態を楽しむことが出来た。特に、コックピット内の見学をさせてもらったことは、特別な体験として心に残る思い出を胸に刻むことが出来た。

栃木地本は、「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に積極的に働きかけ、自衛隊への理解の促進を図るとともに募集活動を推進していく」としている。



入間基地ターミナル前で記念撮影



C-130前で記念撮影（千歳空港）



北の大地で同行広報官（海藤2曹）と記念撮影

## 「西方子ども夏祭り」で広報展 ～心に残る夏の思い出をプレゼント～

自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 小林1空尉）は、8月23日（土）、西方総合文化体育館（栃木市西方）において東部方面特科連隊第2大隊の支援（宇都宮）を受け、広報展を実施した。

当日は30℃を超える真夏日の中、自衛隊広報ブースに多くの来場者が訪れ、夏祭りを通して『夏の思い出』をプレゼントできた地域交流だと実感した。

広報展は、制服試着コーナーを始め、車両展示（31/2tトラック、野外炊具1号）、自衛隊紹介コーナーなどを設け、沢山の来場者が制服姿で記念撮影をするなど楽しんでいった。また、ボランティアの中学生が祭りを盛り上げており、地域が一体となるイベントであった。

小山地域事務所は「今後も地域に密着しながら、自衛隊に対する興味や理解促進を進め、自衛隊を身近に感じてもらえるよう広報イベントを積極的に推進していく」としている。



車両展示の様子



31/2tトラックにて記念撮影



制服試着を楽しむ来場者

